

基本情報						
教科・科目		数学1		・授業で使用するもの 教科書) 数学I Standard 問題集) 数学I+A WIDE、New Action Legend I+A 授業プリントを使用します。整理して取っておくこと。 取り組みのフィードバック、資料の共有、グラフソフトの使用のためにiPadを使う場合がある。		
担当者		中村(発展・標準①)・秋本(標準②)				
評価割合(試験:試験外)		試験:6 試験外:4		試験外評価は、単元ごと的小テストと再テスト、授業中や家庭学習の取り組みを評価する。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬(知識及び技能)		関係式が作れる、命題が述べられる。平方完成や2次不等式を解くことができる。		
		理知(思考力・判断力・表現力等)		問題文からどんな数学的性質を用いればよいか、読み取ることができる。 目的に応じて、立式や式変形ができる。		
		探究・叡智(主体的に学習に取り組む態度)		間違えた問題に対して、粘り強く取り組み、解答にたどり着くことができる。 自分が理解できていない内容を分析して、解決できるまで取り組むことができる。		
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4 5	10	式の計算	・3次式の展開や因数分解ができるようになる。 ・式の形に合わせて、展開や因数分解の公式を利用できる。 ・授業プリントに他の人の解法やアイデアを記録することができる。	・分配法則を用いて、展開や因数分解の公式を導出する。 ・2次式の展開・因数分解の公式を振り返りながら、展開や因数分解を工夫して行う方法を考える。 ・クラスメイトの計算方法を共有し合う。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
5	4	実数 1次不等式	・不等式や絶対値の意味を理解する。 ・循環小数や根号を含む式を既約分数で表すことができる。	・絶対値や不等式が表す部分を、数直線上で表現する。 ・循環小数を文字で置いて、循環小数が出ない形に変形する。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
6	定期試験① 令和7年 6月2日―6月4日					
6	4	不等式の応用	・連立不等式や絶対値を含む不等式を解くことができる。 ・誤った不等式の解に対して、不等号の向きや表す領域を見直すことで解答を修正できる。	・不等式を解く問題に対して、誤った解答を提示し、誤っている理由を考える。 ・連立不等式や絶対値を含む不等式が表す部分を数直線上で表現する。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
6 7	8	2次関数とそのグラフ	・2次関数を平方完成することができる。 ・2次関数のグラフを書くことができる。 ・2次関数のグラフから、2次関数の係数の符号を判断することができる。	・2次関数の最大値、最小値を考える。 ・2次関数のグラフをプロットする。 ・グラフソフトを用いて、係数とグラフの変化の対応を観察する。	・講義 ・演習 ・グラフソフトの利用	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
7	定期試験② 令和7年 7月9日―7月11日					
9	12	2次方程式と2次不等式	・2次関数のグラフとx軸の交点を求めることができる。 ・2次関数を利用して、2次不等式を解くことができる。	・2次関数と直線の交点を求める方法を振り返り、2次方程式の解と2次関数のグラフの関係を考察する。 ・2次不等式が表す領域を図示し、2次不等式の解法を考える。	・講義 ・演習 ・グラフソフトの利用	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
10	定期試験③ 令和7年 10月20日―10月22日					
10 11 12	12	鋭角の三角比 三角比の拡張	・三角比の定義が言える。 ・sin,cos,tanのうち1つの値が分かれば、残り2つの値を求めることができる。 ・三角比を含む方程式を単位円を利用して、解くことができる。	・三角比の成り立ちを学習する。 ・三平方の定理を用いて、三角比の相互関係を導出する。 ・sin140°とsin 40°など同じ値になる三角比を見つけ出し、鈍角の三角比の性質を学習する。	・講義 ・演習 ・グラフソフトの利用	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
12	定期試験④ 令和7年 12月10日―12月12日					
1 2	15	三角比の応用	・正弦定理、余弦定理を用いて、三角形の辺や角を求めることができる。 ・三角比を利用して、ビルの高さや山の標高などを測量することができる。 ・学習を振り返り、どの三角比の性質を利用すれば解答できたかを分析する。	・三角形の辺や角のうち、正弦定理や余弦定理を適用するために必要な情報を分析する。 ・傾斜計や標高の情報から、建物の高さなどを計測する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリントへの取り組み
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日―3月6日					